

第4回 全国都市緑化くまもとフェア（仮称）基本構想検討委員会 議事録

【日 時】 平成31年2月8日（金）16時00分～

【場 所】 熊本市役所 議会棟5階 特別委員会室

【出席委員】 全14名中11名出席 ※以下、敬称略

東京農業大学	名誉教授	蓑茂 壽太郎（会長）
熊本大学	名誉教授	内野 明德（副会長）
熊本商工会議所女性会	理事	濱田 麻里
熊本市中心商店街等連合協議会	会長	安田 二郎
熊本国際観光コンベンション協会	理事	吉村 尚子
水前寺活性化プロジェクトチーム	代表	永野 陽子
熊本市花き振興協議会	会長	村上 昭光
熊本市公園愛護会連合会	会長	大川 洋次郎
熊本市造園建設業協会	会長	吉村 昌洋
立田山自然探検隊	会長	藤井 由幸
公募委員		桑原 たか子

※欠席委員 九州大学大学院 准教授 藤田 直子
熊本大学 准教授 円山 琢也
熊本市学校環境緑化コンクール 審査委員長 福井 俊介

【議事概要】

1. 開会
2. 議題

（1）前回会議の振り返り

（2）パブリックコメントの結果について

（事務局）～資料1、資料2に基づき説明～

（蓑茂会長）はい、ありがとうございました。それでは、最初に資料1の前回の振り返りに関して何かございましたら、ご発言を頂きたいと思いますが、だいたいよろしいでしょうか。はい、それでは資料1についてはご確認いただいたという事にしましょう。それから、資料2はパブリックコメントの結果を反映したんですね。これは、かなり詳しい方からのコメントがありましたね。非常に良かったと思いますね。私はよく分からないですが、金峰山には公的な空間があるんですか。公園みたいなものがあるんですか。山の上かなんかに、そういう場所が。

（事務局）民間の方から寄付をいただいた、公園スペースもございます。

（蓑茂会長）スポット的にあるんですね。

（事務局）そうですね。

（蓑茂会長）金峰山というのは、熊本市民にとってはシンボルになるんですか。分かりました。では、そこをうまく活用できるようにして下さい。よろしいですか。あと、基本構想書

を簡単に説明してくれるんですか。それでは、これを反映していると思いますので、基本構想書全体を眺めながら最終確認をしていきたいと思います。お願いします。

(事務局) ~資料2-2 基本構想書の説明~

(菘茂会長) はい、ありがとうございました。ちょっと、今見ていて気づいたんですけども、32ページの真ん中2つの写真の間の文字が重なっているんじゃないかと、右に来てしまっている。これは印刷ミスですか。

(事務局) はい、失礼いたしました。修正致します。

(菘茂会長) はい、どうぞご感想を。これから、これを出して国から同意を頂いて、具体的に詰めていく事になるわけです。めくっていきますと6番みたいなものがあって、一過性のもので終わらないよう、前後に色々なことをやっていくと。いいですか。

この前から別の事で、都市緑化植物園が前回の緑化フェアでできたんですけども、そこをつくったときの様子を聞いたりよくしているんですけども、つくったときは更地というか、何でもないところにつくったのでいっぱい木を植えた。いずれ切ってもらいたかったのだけれど、一回植えたらなかなか切りにくい、命がありますからね。切らないので思った風景ではないという人がいましたけれども、本当はもう少し切ってもらいたかったんだと。3本に1本くらい。そうしないと、全部日陰になってしまって他の植物がダメになってしまう、そんな話をする人もいました。ですから、今回もそういったことをもう少し考えながら、ネオグリーンプロジェクトでは提案していかないといけないかもしれません。これを通じてもっともっと市民の方から緑化フェアに対する期待だとか、こんなことをやりたいだとか、行政が聞ききっかけをつくったらいいと思います。これまでも、苦情はいっぱい聞いているかもしれませんが今度はポジティブに。基本構想書としてはよろしいでしょうか。時間が許すようでしたら、感想を一言ご発言願いたいと思いますが。一応、会議の承認としては、基本構想書はこれでよしということで。あと、これは議会かなんかで報告するんですか。

(事務局) はい、議会の方でもパブリックコメントの結果を出す予定です。

(菘茂会長) 委員会としては基本構想書を市長さんをお願いするわけですね。

(事務局) 事務局から、議会の報告の後に修正等があった場合に、できれば会長の預かりという形をお願いできないでしょうかという事を提案させていただきます。

(菘茂会長) はい、よろしいでしょうか。そういう事で。

(事務局) ありがとうございます。修正があった場合は、会長にご相談してまた修正を加えた上で、委員の皆様方にご報告させて頂きたいと思っております。どうかよろしくお願い致します。

(菘茂会長) それでは、議題3にご説明をお願いしましょうか。

(3) 来年度からの取組みについて

(4) プロジェクトチームからの報告

(事務局) ～資料3、資料4に基づき説明～

(菘茂会長) はい、まずは全体について何かありますか。村上さんからいかがですか。

(村上委員) 会場づくりについて、実施計画で『未来のバラ園』として新品種のバラの導入とかがありますけれども、バラの栽培管理は非常に難しい。実際我が家はバラ園をやっておりますが、管理は大変難しい。ただ、熊本県内ではそういう専門の生産者の活動部会があります。その部会長さんの協力を得ると、ある程度できるとお思いますので、そういったことも検討して頂いて造成していただければできるのかと思います。それから花がたくさん必要ですので、春咲きのバラはどうしても生産者の方をお願いする。先ほど言った部会の協力なくしては、これはなかなか難しいのではなかろうかと思えます。しっかり植え込みしていけば、立派なまちなみができるのではなかろうかと感じました。

(菘茂会長) 専門家支援体制みたいなことが必要だよということですよ。それから、相当戦略を練らないと実現できないから、早めにそういう組織に相談してみたらいいだろうと、そういう協力体制をつくるということですね。はい、大川さん、お願いします。

(大川委員) はい。私はフェアが22年の3月から5月と先は長いんですけど、19年は始まったばかりですので、2年先ですけれどもPRの何ができないかというふうに思います。それと、11月に山口に行かせて頂きましたけれども、全小学校が一つのプランターを学校名を書いて出しております、ああいうふうに熊本市内も93校ありますので、自分の学校の好きな花をそこに生けさせてどこかに並べると。例えば上通り、下通りなど大通りですから、そこに並べさせると、これは事前からでもいいのではと思います。それともう一つは、熊本は今外国から多く来ますし、その人たちにも熊本の花、例えば肥後六花とか綺麗な花もPRするとどうだろうかということを考えました。一つは事前からのPRを大きくやったほうがいいんじゃないかなと思います。平成も終わりますし、この次どういう元号になるか分かりませんが、花に似たような元号になればまたいいなと、以上です。

(菘茂会長) はい、ありがとうございます。吉村さんどうですか。

(吉村委員) 私も、思ったのが、非常に熊本はインバウンドで、特にアジア系の方々も各名所にたくさん見かけるんですけども、そういう方にとってもやはり開催が決定したら、メインの玄関口、空港だとか、駅だとか、港だとか、外国の方の通り道だったり、見られるところがありますので、そういう所に必ず分かりやすい緑化フェアのイメージだとか、そういうのを前もって広告しなければいけないなと感じました。そういう中で、そこからの会場までの動線、これもいろいろやっていかないと、盛り上げるためには何かをやっていくというのは必要だというふうに感じました。あとは、やはり開催決定しましたら、ハード面、ソフト面両方ありますけれども、なかなか熊本市内を見回しても公共のトイレとか汚いところもありますので、そういった面から徐々にやっていかなければいけないなと感じました。私からは以上です。

(菱茂会長) はい、ありがとうございます。では、藤井委員お願いします。

(藤井委員) 私の方からはですね、基本構想案すごくよくできていると思います。パブコメで良い意見をいただいたと、特に昭和61年のグリーンピックに触れてありますけれども、あの時には来場者が125万人いたということで、それなりに経済効果もあったと思うんです。そういう事もあります、あれを契機に熊本市にどう影響が起きたかと、私なりに振り返ると、やはり水と緑に対する熊本市民の意識が変化したように思うのです。特に江津湖で開いたこともあったし、その後動植物園があそこにできます。ただ、都市緑化植物園の中に江津湖の生き物を紹介するコーナーを入れてくれというのもありましたし、そこによって動物園が江津湖を汚さないか、工事が江津湖の水を減らさないかという市民の論議もありましたし、その後、街路樹についても「あれは切りすぎだ」という意見と「街路樹は切ってちゃんと管理しなくてはダメだ」というような意見もあったり、「熊本城の木は多すぎる」とか「いや、あれは見晴らしを悪くする」というよりも、森の都のシンボルだから残すべきだとか、市民の利害は別にして、緑に関する、あるいは水に関する論議がたくさん起きている、地域では鎮守の森を守ろうと神社仏閣でそういう事があったり、水源かん養林を阿蘇の方に植樹に行こうとか市民運動も起きて来ているんですね。これは、その時のことがその後生きてきたということですから、今回振り返ることによって是非今後のプランに役立てて頂きたいと思います。これからの時代、少子高齢化なんですね。特に公園を守る会にしても自治会活動にしても鎮守の森を守る氏子さんたちにしても、みんな高齢化してしまって担い手が地域からなくなりつつある。若い人との間にギャップができています。それがやはり、これから先、基本計画、実施計画をつくっていかれる中で念頭に是非置いて頂きたいと、それを活かしていくとこの基本構想がすごく良いものになっていくだろうと思います。お願いをしておきたいと思います。

(菱茂会長) はい、ありがとうございました。では桑原さん。

(桑原委員) 昨年、この基本構想の検討委員会に参加させて頂きましてありがとうございました。みなさんの貴重なご意見も拝聴できましたし、とても考えさせられました。最後にチームカメラ様からの活動報告がありましたが、とても興味深く、なるほどというような事がたくさんあって、いつも最後にいろいろとご意見頂けてうれしく思いました。この2022年のくまもと緑化フェアで、子どもたち、そして地域の人、企業やいろんな方々を巻き込んだ大きなイベントが行われることで、今心の時代と言われて久しいですけれども、周りの人に優しい熊本の文化、肥後人の心根が育っていくような、花と緑を通しての心優しい人づくりに繋がっていくようなイベントになることを心から期待しています。そして、ネオグリーンのプロジェクトで私は何で参加できるのかなと思っておりましたけれども、是非花のマイスター制度養成講座には参加させて頂きたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。ありがとうございました。

(菱茂会長) ありがとうございました。是非、みなさんも、私はこれをやりたいというご発言をお願いします。では、永野さんお願いします。

(永野委員) 基本構想は様々な事が素晴らしくまとまっています、期待感を持っております。私

は水前寺にありますので、すべての地域を把握しているわけではございませんが、山口に行きまして感じました事は、つくり上げたフェアとあるものをプラスして見ていただくということが、熊本ではできるので素晴らしいのではないかと感じております。山口で思いましたのは、夜のイベントもあっておりました。熊本も少し夜の事が書いてありましたが、是非その辺も、「水辺の夜」また「お月様と水」「木と水」、こんな演出も期待したいと思っております。それから、山口ではお花の代わりにお野菜をととても上手に使って演出していました。熊本は肥後野菜もございまして、是非その辺をこの機会にやっていただけたらと思っております。それから子どもたちに命を伝えられる、いろいろ教えてあげられるいい機会となると思っておりますので、私たちもお勉強しながら子どもたちと一緒に作り上げていくということが、また次の世代へ伝わっていくのではないかと考えております。

(菘茂会長) はい、ありがとうございます。それでは吉村委員、お願いします。

(吉村委員) 基本構想書がとても素晴らしくまとまっていて、事務局の皆さんがいろんな苦勞をされたのではないかと思います。お疲れ様です。このフェアが外から来られる方が喜んでくださるというのはもちろんなのですが、やはり熊本に住む方々がこれをきっかけにいろいろな事を考えて、何か行動を起こしてそれを続けていくきっかけになるというような事で、熊本の方々が興味を持って下さる、誇りに思ったり、面白がって下さることがたくさんあるといいなと考えていました。身近に取り入れられることとか、身近であるという事がいろいろあるといいなと思っておりますが、カメラの中に入れてあったのですが、どういう物も生垣になりますよってというような、いろんな生垣が使えるんだってというようなことも教えて頂いて、ちょっと取り入れたいななんて思っていたんですが、そういう事であったり、ホームページかなんかで毎日情報を発信していくというので、「365日の花、木と花」とかいう、どなたが出してらっしゃるのか忘れたんですが、熊本の陶磁器と花器とそれから季節の木と花をどなたかが生けられていて、それを毎日発信して下さったりすると、それがすごくお手本になるなと思ったんです。それと同時に、今の季節の花ってこんなものがあるんだとか、そういう事が毎日発信できるかなって、それが後で一冊の本になったりするんじゃないかなって思いました。是非、メディアが取り上げたいような企画もして頂きたいなと思っております。これはすごく大事な事だと思っております。今葬儀をされる方がすごく減っているというのを聞いて、葬儀にはすごく花とかを使いますけれども、それってというのは日本の大事な文化であったりするわけで、ここにそのような何か架空のものをとりあげてつくってみたりですとか、そういう一見関係のないことだけど、生と死というのを花とかけて考えてみる機会をつくるとか、そういったような今までになかったような何か企画をつくっていただいて考えるきっかけとメディアが取り上げて下さるような仕掛けを。私はプランナーなのでこんなことができたらいいなと妄想をとにかく考えていたんですけれども。是非、こういうこともやるんだと何か出して頂いてみんなで考えたりとか、自分の生活に取り入れられたりだとかということができたらいいなというふうに期待しております。これからもどうぞよろしくお願い致します。

(菱茂会長) ありがとうございます。安田さんどうですか。

(安田委員) 今回のメインエリアの江津湖、立田山ですけれども、中心街、シンボルプロムナードエリア、商店街エリアや上通り、下通り、新市街と、また公園緑地というふうになっておりますけれども、この中心市街地にはみなさんたくさん来てくださると思うんですけれども、どうしようかなと自分で考えております。市と打ち合わせしながら、その後も続けていけるような場所になって、賑わいを取り戻したいと思います。また、お客さんを国際スポーツのワールドカップ、ハンドボールとどうやっておもてなししようかと考えてまして、今着々と練っておりますので、3年後の緑化フェアに来られたお客さんにいいおもてなしをして、たくさん来て頂きたいというふうに思っています。

(菱茂会長) どうもありがとうございました。濱田委員お願いします。

(濱田委員) みなさん、第1回目からの会議の中で、すごく興味深い話を聞かせていただいて本当にありがとうございます。本当に開催が楽しみで、待ち遠しいと思っております。私が思ったことが、会場がたくさんあるので回遊性というのをどのような形でできればいいのかなと思ったのが、山口に緑化フェアで行ったときに案内をして下さる方からお話を聞くのと、一人で先に回った時の感じというのが、全然受け取り方が変わったんですね。やはり、そういうかたちでのインフォメーションをして下さる方がたくさんいると違いますし、せっかくこれだけ十分に準備をして計画を立てたものを存分に皆さんに見ていただけるような、そういうプログラムというかアトラクションの半日コースとか、1日コースとかそういうのが提示できるようなものもあった方がいいんじゃないかなと思いました。それと、先日市の方ともお話ししたんですけど、熊本地震の後に、街の方ではそうでもないそうなんですけれども、うちの近所のお花屋さんがかかり閉店をされて、ちょっとした時にお花を買いに行くところがなくて困っているというお話をしたんですけど、やはりお花屋さんのインフォメーションというか、このお花屋さんはこのお花が得意ですよとか、皆さんで市民の方一人一人にお花を植えて頂いたり、緑化に協力して頂く場合に、そういう情報をもっと普段溢れていると買いやすいですし、個人個人の緑化というのが進むと思うので、そういうインフォメーションも設けていただければ全体的に底上げというか、そういうのが広がるんじゃないかなと思いました。本当に有意義な時間を過ごさせていただいて、皆さんありがとうございます。

(菱茂会長) ありがとうございます。それではどうぞ。

(内野副会長) 皆さんのいろいろなご意見をお聞きしておりまして、皆さんの熱心な取組みとチームカメラという新たなチームを作って頂いて、そのおかげで非常に良い構想案ができたと思っております。ネオグリーンプロジェクトも非常に良くできていると思います。あとは、基本理念を具現化する基本計画と事業計画をよく練ってやって頂ければと思っております。

(菱茂会長) どうもありがとうございました。全体的には事務局の頑張りでもいいものができたんじゃないかと思えます。今、皆さんのご発言にもありましたが、やはり熊本は2回目の全国都市緑化フェアをやることができるということで、ですから振り返りも重要です

し、2回やることに意義が何なのかということをも成果として見せないといけないと思いますので、そこを一つは強く意識しないと。そのためには非常に裾野の広い事で物事を考えていくという、そういう作法が重要でないかと。裾野が広いということは、全部をやるということではなくて、狭い範囲で物事を考えるのではなくて、広く考えてくださいということですね。そういう考えを持つならば、少子高齢化とか一般的には逆風と見られていることに対して、この緑化フェアというものが非常に良い成果を見せる可能性があるんじゃないだろうかと気がします。私は全国を回っていて、熊本は地方でも元気のいいところだと思っているんですけども、もっと元気のいい地方の本物性みたいなものがこの緑化フェアを機に出てくるといいと強く思っています。街の中をいくと、タクシーの運転手さんに「たくさん人が歩いていていいですね。」と言うと、「こっども、タクシーには乗らん」と「いや、いるだけでいいんですよ」と私は言うんですけど、やはりそういうところを、新しい時代を今回の緑化フェアが見つかるぐらいのことを、次の基本計画のところでやってほしいなと思っています。おかげ様で、何とか基本構想ができましたので、これからもお気づきのことを多面的に事務局の方にお伝え頂けたら幸いです。それから、参加をして頂いたことにお礼を申し上げて、私からは以上と致します。どうもありがとうございました。

3. 閉会

以上